

農業経営を支える優れた農業基盤の活用

(農村振興課、生産振興課)

1 目的

おいしく品質の良い米づくりや新たな園芸品目の生産を拡大するため、水田や畑地等の農地を利用しやすいように整備を進め、収益性の高い農業経営の実現を図る。

また、農地には大雨時に水を一時貯めて洪水被害を軽減するなど作物を生産する以外にも多面的な機能があり、これらの機能を維持・発揮するため、地域での共同活動を強化し、「地域のつながり」で農地の維持を図る。

2 事業内容

(1) パイプライン化による新たな水田農業の展開

○高食味米生産と水田園芸生産の拡大

- ・パイプライン化で可能となった豊富な冷たい水を盛夏の夜間に入水することにより、胴割れ米や乳白米の発生防止と米の品質・食味を向上
- ・客土による園芸専用畑の造成やチューブかん水の技術等を導入し、果樹やニンジン、キャベツ等の大規模露地栽培を実施
- ・パイプライン化で水管理が容易になることにより、稲刈り後の水田に入水する等、ホタルなどを育むための生き物にやさしい栽培技術を拡大

(2) 田畑・水路の整備・維持

○営農計画の実践に必要な田畑・水路等の整備

- ・農業者の作付計画や生産額の増加目標のほか、園芸や農産物の直売・加工の導入など地域の営農計画の実現に必要な田畑・水路等を整備

○営農活動を支える田畑・水路の維持

- ・老朽化が進む重要な農業水利施設について、計画的な補修・補強等を実施
- ・農業用水を活用した小水力発電を導入し、土地改良施設等の維持管理費を節減

○地域の共同活動の強化

- ・農業者と自治会等による活動組織が共働し、草刈りや泥上げのほか水路敷地等を活用した花壇整備などの地域活動を促進することで、施設の維持管理を実施